



第192号 2019年(令和元年)7月20日
発行所/京都医療生活協同組合
京都市中京区聚楽廻東町2番地
視力センタービル地階
TEL 075(822)2286 FAX 075(822)6133
発行責任者/宮本和明

第72回通常総代会開催

宮本和明理事長、山田亮三副理事長が就任



第72回通常総代会の会場風景



京都医療生協理事長 山田 亮三

中野眼科を開設している京都医療生活協同組合の第七十二回通常総代会が去る六月八日(土)午後一時、今春開業した京都経済センター六階6-C会議室にて、総代や役員などの参加で開催されました。総代会は、山田理事長の開会挨拶で始まり、ご来賓としてお迎えした京都府生活協同組合連合会の高取淳専務理事からは厳しい経済情勢のもと生協運動を一層強めようとの励ましの言葉をいただきました。議案としておられました。

開会挨拶

協同を基調にした経営基盤の安定をはかり新しい時代を拓いてゆきましよう!

総代の皆さまと共にこうして通常総代会を開催できますことを、ありがたく思っています。さて「二頭の大きな象に踏みつけられるのは草だ」、これはマハティール・マレーシア首相が、米中の覇権争いを諷めた言葉です。「すべての国が机の上での交渉で解決すべきだ」とも述べています。日本にとっても傾聴すべき忠告ではないか、念と基本方針に基づき、

このたび、京都医療生活協同組合の理事長に就任いたしました。元号が新しく「令和」に変わり、新時代の幕開けの年に、京都医療生協の長の任に携わることになりました。命的なものを感じます。日本は今、六十五歳以上人口が総人口の二七・七%を占め(内閣府平成三十年版高齢社会白書)、世界が未だ経験したことがない超高齢社会を迎えています。若い世代が老齢世代を支える現医療システムに限界もさやかれ、



京都医療生協理事長 宮本 和明

新時代の幕開けにふさわしい新たな眼科診療を!

医療を取り巻く環境が日々百歳以上の人生を生きると予測されています。私たちがすでに三十〜四十歳代の人は、自分の人生は九十歳以上あると考えておくべきです。今の二十歳代の子供は、百歳も確実に生き延びる可能性があります。質の高い豊かな人生を送るためには、役職名は変わりますが、やるべきことが大きく変わるわけではないと、まず第一に目の前にいる患者さんのために、そして次に中野眼科グループの存在・発展のために、皆さまの負託にこたえるべく、鋭意専心、力を尽くす所存であります。そのためにも、これまで以上に、皆様のお力添えが必要不可欠であると考えます。今後とも引き続き、変わらぬ指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



「シンプルに暮らしたい」「あふれるものを少なくしたい」と「断捨離と整理術」がブームでたくさんの方が出版されている。ものを採るの時間がかかる日々とうんざりしている私も、仕事関係の本や資料を処分した。本棚が空いてスッキリしたのもつかの間、新たな趣味関係のもので埋まり、元の木阿弥に。衣類や食器は割と簡単に処分できたが、アルバムや手紙などはなかなか処分できず、読み返すと時間が止まり遅々として進まない。大量に処分しているが、「処分し過ぎて、これまでの生き方が否定されたように感じ、うつ状態になった」と言う友人もいる。物がないとさきりした住まいに憧れるが、価値観は人様々で、本に掲載されている部屋のようにはいかない。「スッキリ」よりも、「いい加減な片付け」が私には合っているのかも自分を慰めている。(友藤弘子)

本日は、第七十二回の通常総代会のご開催、誠にありがとうございます。昨年もご紹介しました『SDGs(持続可能な開発目標)』の達成に向けて、この間、多くの「生協」や「協同組合」で、様々な取り組みがすすめられています。

京都でも豪雨や台風などの「流通」や「小売の現場」での混乱が懸念されています。被災地への支援にとどまらず、過去の災害から学び、今後の取り組みに活かすことが大切だと考えています。

第七十二回通常総代会は、川久保雄二郎理事の司会です。議長に上木紀介総代を選出、議長説明につづいて、近藤順子総代より「地域包摂」の具体的な活用方法が述べられました。

私は二〇〇六年神戸大学医学部卒業、二〇〇八年京都大学眼科入局、西神戸医療センター医員、兵庫県立塚口病院院長、京都大学眼科医員、助教を経て二〇一九年四月より中野眼科医院に勤務しております。中野眼科医院に勤務する前の五年間は京都大学で主に糖尿病

網膜症、涙道・腫瘍・眼形成を専門に外来診療、手術、研究に勤しんでいました。涙道・腫瘍・眼形成に関しては引き続き非常勤講師として京大病院で外来・手術を担当しております。

本院では平日の午前外来診療、火曜・木曜の午後には口内手術を担当

ご来賓祝辞

京都府生活協同組合連合会 専務理事 高取 淳



「誰ひとり取り残さない社会づくり」を基本理念とするSDGsの目標は、私たち生協が、これまで取り組んできた活動と密接に結びついており、引き続き私たちの活動を広げることが大切であると考えております。

最後にありますが、安心してらせる地域づくり、人が人として大切にされる社会をめざして、今年度も力を合わせ、生協の事業と活動を広げてまいりましょう。

私は二〇〇六年神戸大学医学部卒業、二〇〇八年京都大学眼科入局、西神戸医療センター医員、兵庫県立塚口病院院長、京都大学眼科医員、助教を経て二〇一九年四月より中野眼科医院に勤務しております。中野眼科医院に勤務する前の五年間は京都大学で主に糖尿病

網膜症、涙道・腫瘍・眼形成を専門に外来診療、手術、研究に勤しんでいました。涙道・腫瘍・眼形成に関しては引き続き非常勤講師として京大病院で外来・手術を担当しております。

本院では平日の午前外来診療、火曜・木曜の午後には口内手術を担当

網膜症、涙道・腫瘍・眼形成を専門に外来診療、手術、研究に勤しんでいました。涙道・腫瘍・眼形成に関しては引き続き非常勤講師として京大病院で外来・手術を担当しております。

本院では平日の午前外来診療、火曜・木曜の午後には口内手術を担当



中野眼科本院副院長 藤本 雅大

網膜症、涙道・腫瘍・眼形成を専門に外来診療、手術、研究に勤しんでいました。涙道・腫瘍・眼形成に関しては引き続き非常勤講師として京大病院で外来・手術を担当しております。

本院では平日の午前外来診療、火曜・木曜の午後には口内手術を担当

網膜症、涙道・腫瘍・眼形成を専門に外来診療、手術、研究に勤しんでいました。涙道・腫瘍・眼形成に関しては引き続き非常勤講師として京大病院で外来・手術を担当しております。

本院では平日の午前外来診療、火曜・木曜の午後には口内手術を担当



第72回通常総代会報告

法について質問があり、山田理事長および宮本副理事長より答弁がありました。また東川絹子総代より「地域包摂」の具体的な活用方法が述べられました。

町を歩く時に知覚する「悲哀する」とは多くの「へたましい」いわば群像を取りあげ、その思想と共に京都の諸相を探ります。京都本ではありますが、一味も二味も違った内容から丸太町通へ。そこには西田幾多郎、柳宗悦、中原中也ら「悲哀する」群像が、思想、芸術作品を生み、今に続く歴史都市・京都をたどるユニークな一冊か。

著者は、こんな京のた時の教材がもともと 百円と税。(松本忠之)



小倉 紀蔵著

『京都思想逍遥』

多郎、柳宗悦、中原中也ら「悲哀する」群像が、思想、芸術作品を生み、今に続く歴史都市・京都をたどるユニークな一冊か。

友藤弘子常任理事から「総代会アピール」が提案され、全員の拍手で採択されました。核兵器廃絶への国際的世論が大いに盛り上がった二〇一七年、そして朝鮮半島の非核化への期待が高まった二〇一八年でしたが、これに続く二〇一九年、世界の核軍拡競争は複雑な

景気好転を体感できる要素も少ないまま、国民生活のさまざまな社会問題が顕在化しています。とりわけ「高齢者のためのかな長寿社会の構築に向けて暮らせる長寿社会実現をめざして、その第一歩を目の健康を守ることから始めようではありませんか。

協が示す基本方針の意義がさらに重要な意味をもつのではないのでしょうか。少子高齢化にあっても、すべての国民が安心して暮らせる長寿社会実現をめざし、その第一歩を目の健康を守ることから始めようではありませんか。

国民が安心して暮らせる長寿社会実現をめざして



友藤 弘子 常任理事

協が示す基本方針の意義がさらに重要な意味をもつのではないのでしょうか。少子高齢化にあっても、すべての国民が安心して暮らせる長寿社会実現をめざし、その第一歩を目の健康を守ることから始めようではありませんか。

協が示す基本方針の意義がさらに重要な意味をもつのではないのでしょうか。少子高齢化にあっても、すべての国民が安心して暮らせる長寿社会実現をめざし、その第一歩を目の健康を守ることから始めようではありませんか。

協が示す基本方針の意義がさらに重要な意味をもつのではないのでしょうか。少子高齢化にあっても、すべての国民が安心して暮らせる長寿社会実現をめざし、その第一歩を目の健康を守ることから始めようではありませんか。

協が示す基本方針の意義がさらに重要な意味をもつのではないのでしょうか。少子高齢化にあっても、すべての国民が安心して暮らせる長寿社会実現をめざし、その第一歩を目の健康を守ることから始めようではありませんか。

協が示す基本方針の意義がさらに重要な意味をもつのではないのでしょうか。少子高齢化にあっても、すべての国民が安心して暮らせる長寿社会実現をめざし、その第一歩を目の健康を守ることから始めようではありませんか。

総代会アピール

展開を見せ、「新冷戦」とも呼ぶべき国際格差が大きくなるなど、

社会保障制度持続」を名目にした医療・介護費用の自己負担の強化、また消費税増税などは、さら

けて、協同を基調に、経営改革を進めて、信頼される中野眼科を築こう」という京都医療生

協が示す基本方針の意義がさらに重要な意味をもつのではないのでしょうか。少子高齢化にあっても、すべての国民が安心して暮らせる長寿社会実現をめざし、その第一歩を目の健康を守ることから始めようではありませんか。

協が示す基本方針の意義がさらに重要な意味をもつのではないのでしょうか。少子高齢化にあっても、すべての国民が安心して暮らせる長寿社会実現をめざし、その第一歩を目の健康を守ることから始めようではありませんか。

協が示す基本方針の意義がさらに重要な意味をもつのではないのでしょうか。少子高齢化にあっても、すべての国民が安心して暮らせる長寿社会実現をめざし、その第一歩を目の健康を守ることから始めようではありませんか。

協が示す基本方針の意義がさらに重要な意味をもつのではないのでしょうか。少子高齢化にあっても、すべての国民が安心して暮らせる長寿社会実現をめざし、その第一歩を目の健康を守ることから始めようではありませんか。